

科目名	外国語科 科目：オーラルコミュニケーション I	使用教材	教科書 SELECT Oral Communication I New edition 副教材 試験に出る英単語
単位数	スーパー進学コース 2年次(2B)：1単位	評価方法	定期考査、授業態度 提出物（課題、ノート）

学習到達目標

日常的な話題の英語を聞いて、その内容を理解し、場面や目的に応じて適切に反応して、自分の考えを相手に伝えることができる。また、関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる。

外国の人々の生活文化や習慣など異文化を理解し認めようとする姿勢を持ち、英語を話したり異文化について知ることの楽しさを理解することを目指す。

カナダへの修学旅行に向けて、日常の会話表現の習得。

授業について

教科書に載っている英文のディクテーションやシャドーイングなどを行い、体を使って英語を学習していきます。また知っている英単語数が受験の結果に大きく影響してきます。そのため毎週決まった数英単語を覚えてきてもらい、小テストを授業で行ないます。前期考査前からカナダへの修学旅行の為にリスニング、スピーキングを強化して行きます。さらに12月からは大学入試に向けての演習を行います。

自主学习について

◎予習：学習予定の英文を読んで、分からない単語や表現があれば調べておきましょう。また、小テストの範囲の英単語を覚えておきましょう。

◎復習：小テストで間違えた単語をノートに書き出し、覚えなおしましょう。

評価について

☆評価の対象

- ①定期考査 ②授業への取り組み方 ③提出物（ノート、ワーク、プリント）

☆評価の観点

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的会話表現で話すことができる。	日常的な会話表現を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な会話表現の運用についての知識を身に付ける。
規準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力	(ア) 正確な対話・発話 (イ) 適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ、速さ）	(ア) 正確な聞き取り・対話 (イ) 適切さ（場面や状況、目的に応じた聞き取り）	(ア) 言語についての知識（リズム・イントネーション。場面にふさわしい表現）

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	第1週 第2週 第3週	Lesson11 Restaurant	<ul style="list-style-type: none"> レストランで好きな料理, 飲み物を尋ね、答える会話をできるようになる。 Would you～? という丁寧な尋ね方を理解し、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●店の中の慣用表現 ◆カナダへの修学旅行に向けて、日常生活に必要な英語の表現の習得
5	第4週 第5週 第6週	Lesson12 Making a Plan	<ul style="list-style-type: none"> 日時や場所を決めて約束することができる。 Let's～や Shall we～? といった勧誘の表現を理解する。 	●勧誘の表現
6	第7週 第8週 第9週	Lesson13 Future Jobs	<ul style="list-style-type: none"> 高校生として今, なりたい職業やその理由を英語で表現できるようになる。 疑問詞 What, Why を用いての尋ね方を理解する。 不定詞の副詞的用法の意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●不定詞について * 高校卒業後の自分の姿を考える。
	第10週 第11週	リスニング問題演習	<ul style="list-style-type: none"> リスニング問題の解き方を理解する。 	●英語の情報を正確に聞き取る
7	第12週 第13週	前期考査	<ul style="list-style-type: none"> 前期の総復習 	●学習到達目標の中間確認
9	第14週 第15週 第16週	リスニング問題演習	<ul style="list-style-type: none"> リスニング問題の解き方を理解する。 自分の意見を英語で主張できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語の情報を正確に聞き取る ◆カナダ修学旅行に向けてリスニング強化 * 異文化交流で自分に何ができるか考える
10	第17週 第18週 第19週			
11	第20週 第21週 第22週 第23週			
12	第24週 第25週 第26週	大学入試演習	<ul style="list-style-type: none"> 総合演習問題の長文を正確に読解できる。 ランダムに出題される文法確認問題を正確に解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●長文の読み方 ●文法の復習
1	第27週 第28週 第29週			
2	第30週 第31週 第32週			
3	第33週 第34週	後期考査	<ul style="list-style-type: none"> 後期の総復習 	●学習到達度の最終確認

科目名	英語科 科目：英語Ⅱ	使用教材	教科書 LovEng. English Course Ⅱ (英Ⅱ052) 副教材 現代を見る(スーパー進学コース) 現代を読む(スーパー進学コース) 現代を探る(スーパー進学コース) 補助プリント
単位数	スーパー進学コース 2年 2単位	評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

学習到達目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

具体的な言語活動は以下の通り。

- ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

★授業について

授業では教科書だけでなく、様々な話題・論点をもつ補助教材を用いて英語の表現・論法に迫ります。読んで訳すだけの授業ではありませんので、単語や文法事項だけにとらわれないようにしましょう。

★自主学習について

- ◎予習 各教材のわからない単語を辞書で品詞や文型を考えながら調べ、訳せる文と訳せない文を明確にして授業に臨みましょう。
- ◎復習 授業で学んだ単語や文法事項はもちろん、異文化間のコミュニケーションに役立つ英語の表現・論法を定着させましょう

評価のについて

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
規準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力	(ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法。情報の内容) (イ) 適切さ(場面や状況に応じた表現。声の大きさ、速さ)	(ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解) (イ) 適切さ(場面や状況、目的に応じた聞き取り、読み取り)	(ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にあわしい表現) (イ) 文化についての理解(円滑なコミュニケーションに必要なとされる文化についての理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

スー パー	月 週	単元	目標	学習の要点
4	1	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイを読み, Maleeの生活・夢について知る。 ・エッセイを読み, Yehramの生活・夢について知る。 ・エッセイを読み, Markの生活・夢について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●S+V(=be動詞以外)+C(=過去分詞) ●S+V+O+C(=現在分詞) ●助動詞+受け身
	2	Seize the Day		
5	3	あ・ら・かると1 英語で書くE-MAIL	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でE-MAILを書く場合の顔文字, 省略文字について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆異文化間でのコミュニケーションツールを使ってみる
	4			
6	6	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統料理「すし」が, 日本でもアメリカでも新しく姿を変えつつあることを知る。 ・伝統的なよさこい祭が「よさこいソーラン祭」として世界に広がりつつあることを知る。 ・三味線ロックについての上妻宏光氏の言葉を読み, 新旧文化の融合について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在完了進行形 ●分詞構文 ●受け身の現在完了
	7	New Trends of Japanese Tradition		
7	9	あ・ら・かると2 雅楽と東儀秀樹	<ul style="list-style-type: none"> ・雅楽に新風を吹き込む東儀秀樹氏のプロフィール, 彼の音楽に対する思いを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> *異文化言語で日本を見る
	10			
9	11	Lesson 3 Precious Heritage of Language	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉は他言語からの影響や時代の移り変わりの中で, ずっと変化し続けていることを知る。 ・美しい日本語の意味を改めて知り, 次世代にそれらを残していくことについて考える。 ・ワンガリ・マータイ氏が提言する, “Mottainai”の意味について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●過去完了進行形 ●未来完了 ●S+V+O(=what節)
	12			
10	14	あ・ら・かると3 単語の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・英単語が接頭辞・語幹などに分けられることを知り, 単語の成り立ちについて興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆異文化言語のルーツを知る
	15			
11	16	Lesson 4 Follow Your Dream	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイアン吉日氏へのインタビューを通して, 彼女の旅行好きについて読み, それが落語家になったきっかけの一つであることを知る。 ・英語落語家としてキャリアを積み始めたダイアンの言葉から, 英語落語の難しさ・おもしろさを知る。 ・生徒へのメッセージを読み, 夢を追いかけるのに何が大切だと言っているのかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●S+C+O+O(=疑問詞+to do) ●仮定法過去 ●未来進行形
	17			
12	19	あ・ら・かると4 英語で落語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で落語を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> *異文化言語で日本を見る
	20			
12	21	Lesson 5 Fuji Jumps Again!	<ul style="list-style-type: none"> ・イルカのフジを襲った突然の病で, フジがどうなったのかを知る。 ・尾びれのほとんどを失ってしまったフジを救うために何がなされたのかを知る。 ・人工尾びれについて知り, その製作技術がどのように役立っていくのかについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●It seems(ed) that ~ ●It is + 形容詞 + that ~ ●S+seem(ed) to do
	22			
1	24	あ・ら・かると5 人工尾びれの研究とその可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・人工尾びれの試作品を見ることで, 製作の大変さを理解し, 今後期待できる可能性についても知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆論説文形式の英文に慣れる
	25			
2	26	Lesson 6 We Must. We Can. We Will.	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマンとして有名なクリストファー・リーブに何が起こったのかを知る。 ・生きる希望を失ったクリストファー・リーブを救った妻ダイナとの愛について知る。 ・クリストファー・リーブを救ったもう一人の人物, 息子ウィルのエピソードについて知る。 ・クリストファー・リーブを支えた家族愛, 彼が残した言葉について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ストーリー展開を追う
	27			
3	29	Lesson 7 More Than Words	<ul style="list-style-type: none"> ・人に与える印象は言葉以外のボディランゲージや声の調子に左右されることが多いことを知る。 ・同じ言葉でも声の調子が違うと意味する内容が変わってくることを理解する。 ・就職のための面接で, どのような態度を取ればよいかについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●It is said that ~ ●感情の原因を表すthat節 ●付帯状況
	30			

科目名	外国語 科目：英語 Reading	使用教材	教科書 WORLD TREK English Reading (桐原書店) 副教材 Next Stage(桐原書店) 現代を見る(桐原書店) 現代を読む(桐原書店)
単位数	スーパー進学コース 2年次：2単位	評価方法	1. 定期考査 ①前後期考査 ②中間評価考査 ③各単元確認テスト 2. 授業態度や取り組みの姿勢 3. 提出物（ノート・確認プリント・課題レポート等）

学習到達目標

英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して

1. 英語を読んで、情報や書き手の意向(言語や文化に関する内容)などを理解する能力を身につける。
2. 1の能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
3. 大学入試(長文読解問題)に慣れる。

★授業について

基本的には教科書の英文を中心とした「読む」活動を展開していきますが、「内容を読み取る」ためには、語彙力や文法事項の理解も必要不可欠なものとなります。したがって、難易度のことも考慮した上で、教科書以外の教材も使用し、授業を行います。

また、「読む」ことを通して、人間として生き方や社会問題、人権問題、異文化などについて考え、広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養っていきます。

★自主学習について

◎予習：まずは英語辞書を使って次回の授業で習う範囲(前授業で指示します)の英単語調べは必須となります。また、それぞれの Lesson には、英文理解のための文法的事項もでてきますので、参考書や辞書を使って事前準備も必要になってきます。

◎復習：実践的コミュニケーションに必要な英語力の習得には反復が不可欠です。習ったことはその日のうちに何度も練習し、覚えましょう。

学習評価方法

- ◆評価対象：①定期考査の成績
②授業時における姿勢・態度
③ノート・ワーク・宿題の提出の有無・記入内容の結果

◆評価の観点

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観点	コミュニケーションに関心を持ち、英語を読む言語活動を積極的にを行い、コミュニケーションを図ろうとする。	文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現する。	さまざまなジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解する。	英語を読むことの学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。
規準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力	(ア) 正確な音読・暗唱(リズム・イントネーション) (イ) 適切な音読・暗唱(文章の意味や作者の意味を考えた適切な音読・暗唱)	(ア) 正確な読み取り (イ) 適切な読み取り(概要や要点の把握・目的に応じた適切な速さ)	(ア) 言語についての知識(強勢・イントネーション。文字・符号。語句・文法。場面・状況・目的に応じた表現。文章の流れ) (イ) 文化についての理解(日常生活や風俗習慣。物の見方や考え方の違い)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	1～	Lesson 1	現代を見る	●意味のまとまりにおける文構造を捕らえる。 ◆分詞構文、依頼文 *家族愛についての意見交換
	2週	\$20 of Time	Unit 1	
5	3～	Lesson 2	Unit 2	●袋小路文の理解 ◆代名詞の照応関係と譲歩 *広告の功罪について
			Unit 3	
6	6週	The language of Advertisement	Unit 4	●未知語の推測と提案 *ネットにかんするマナーを考える。
			Unit 5	
7	7～	Lesson 3	Unit 6	●未知語の推測 ●許可を求める文 *総合的人権問題に触れる。
			Unit 7	
8	11～	Netiquette Guidelines	Unit 8	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、文の繋がり *身近な環境問題を考察する。
			Unit 9	
9	14週	Lesson 4	Unit 10	●主題を把握する。 ◆強調・対比・つなぎの文 *動物愛護を通じた人間の愛を考える。
			Unit 11	
10	15～	It's a Right-handed World	Unit 12	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 13	
11	19週	Lesson 5	Unit 14	●パラグラフ構成と複雑な文構造 ◆仮定法 *人間としての生き方を見つめる。
			Unit 15	
12	20～	Noise or Sound	Unit 16	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 17	
1	25週	Lesson 6	Unit 18	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 19	
2	26～	Gone, But Not Forgotten	Unit 20	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			現代を読む	
3	30～	Lesson 7	Unit 1	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 2	
3	35週	T-shirts and Tuxedors	Unit 3	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 4	
3	35週	Lesson 8	Unit 5	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 6	
3	35週	Become an Anthropologist	Unit 7	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 8	
3	35週	Become an Anthropologist	Unit 9	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 10	
3	35週	Become an Anthropologist	Unit 11	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 12	
3	35週	Become an Anthropologist	Unit 13	●未知語の推測の発展と複雑な文構造、流れ、文の繋がり *異文化の知識から日本文化を考察する。
			Unit 13	

科目名	<p style="text-align: center;">外国語 科</p> <p style="text-align: center;">科目：Writing</p>	使用教材	教科書 POWWOW English Writing 副教材 Next Stage(桐原書店) 現代を見る(桐原書店) 現代を読む(桐原書店)
単位数	2年次：2単位必修 スーパー進学コース（通年）	評価方法	定期考査・小テスト 授業への取り組みの様子 提出物（課題・プリント・ノートなど）

学習到達目標

- ◆情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、場面や目的に応じて概要や要点を書くことができる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、自分の考えなどを整理して書くことができる。
- ◆自分が伝えようとする内容を整理して、場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くことができる。
- ◆大学入試に必要な作文力、表現力を身につける。

★授業について

授業では、日常生活の様々な場면을題材を取り上げ、情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で表現できる実践的コミュニケーション能力を伸ばすため、作文や発言の機会を設けます。積極的に参加しましょう。また、副教材を用いて大学入試に必要な知識も学習していきます。

★自主学習について

◆確かな学力を身に付けるためのアドバイス

「暗記」は古い学習法だと思いませんか。いいえ、暗記は「ライティング」の学習にとって、確かな学力を身に付けるために絶対に必要です。文法や構文を理解し、語彙を増やし、多くの例文を頭に入れておくことが大切です。暗記をする際には暗唱(声に出して)すると一層記憶に残りやすいです。

良い英文を書くことができるようになるためには、大量の良い英文を読むことです。読んでいるときに気に入った表現が出てきたら、それをノートなどに書きためておくとよいでしょう。いつか使う機会があるはずです。

日本語と英語の文章の展開法は違うところがあります。パラグラフ・ライティングの概念を理解し、同じテーマを何回か書き直しをして、よりよい文章を書けるように努力してください。英語の先生に英文のチェックをお願いすると一層上達します。

◆予習

次の時間に学習する範囲の教科書・問題集のページを読んでおきましょう。分からない語句は辞書で調べておきましょう。

◆復習

実践的コミュニケーションに必要な英語力の習得には反復が不可欠です。習ったことはその日のうちに何度も練習し、覚えましょう。

評価について

- ◆ 評価対象：①定期考査の成績
②授業時における姿勢・態度
③ノート・ワーク・宿題の提出の有無・記入内容の結果
- ◆ 評価の観点：①コミュニケーションに関心をもち、英語を書く活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。その際に、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように、書く過程も重視しているか。(関心・意欲・態度)
②聞いたり読んだりした内容について、自分の考えを整理して書くことができるか。また自分が伝えようとする内容を整理して、相手に理解されるように書くことができるか。(表現・技能)
③英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができるか。また文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読できるか。(理解)
④情報や考えを伝える適切な英文を書くために、文型や文法、語彙を知識として持っているか。また、日常的な話題についての英語の学習を通して、その背景にある文化・生活習慣などを理解しているか。(知識・理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4月	第1週	Section1 新学期 Scene1 初登校日 Scene2 春のあらし	学校生活の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉第1文型・受動態 〈場面〉学校・学校放送 〈機能表現〉驚く・差し出す ◆ 予習・復習の定着
	第2週			
5月	第3週	Section2 日常生活 Scene1 クラスメート Scene2 梅雨	日常生活の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉第2文型・進行形 〈場面〉家庭・日記 〈機能表現〉残念・期待 ◆ 積極的に自分の意見を発表する事ができる。 * 積極的にコミュニケーションを図ることができる。
	第4週			
	第5週			
6月	第6週	Section3 メディア Scene1 田植え Scene2 カブトムシ	e-mail やテレビでの表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉現在完了・比較 〈場面〉e-mail・ニュース 〈機能表現〉挨拶・情報 ◆ インタビューの聞き取りや記事をまとめることができる。
	第7週			
	第8週			
7月	第9週	Section4 旅行 Scene1 旅のすすめ Scene2 旅行代理店	旅行での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉現在完了 〈場面〉スピーチ・旅行代理店 〈機能表現〉考え・希望
	第10週			
	第11週			
7月	第12週	Section5 スポーツ Scene1 友だち Scene2 人気スポーツ	スポーツの場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉第3文型・最上級 〈場面〉日常生活・学校 〈機能表現〉様子・相づち
	前期考査 7/7～7/10		試験範囲 (教科書・副教材)	
9月	第13週	Section6 公共機関 Scene1 本を読もう Scene2 交通事情	公共機関の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉第3文型・頻度・原級 〈場面〉図書館・投書 〈機能表現〉助言・疑問
	第14週			
10月	第15週	Section7 趣味 Scene1 ジャズ Scene2 ペット	趣味の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉第5文型・動名詞 〈場面〉雑誌・ペットショップ 〈機能表現〉不確かさ・要点
	第16週			
	第17週			
11月	第18週	Section8 学校 Scene1 応援に行こう Scene2 欠席の電話	学校の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉不定詞・関係代名詞 〈場面〉掲示板・電話 〈機能表現〉希望・依頼
	第19週			
	第20週			
12月	第21週	Section9 交通 Scene1 交通事故 Scene2 駐輪問題	交通の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉不定詞・知覚動詞 〈場面〉レポート・ディベート 〈機能表現〉情報・考え
	第22週			
	第23週			
1月	第24週	Section10 休日 Scene1 買い物 Scene2 映画	休日の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉第4文型・関係代名詞 〈場面〉電気店・批評 〈機能表現〉落胆・勧める
	第25週			
	第26週			
2月	第27週	Section11 健康 Scene1 リンゴを食べよう Scene2 病気になったら	健康の話題の場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉部分否定・使役動詞 〈場面〉広告・診察 〈機能表現〉意向・不安
	第28週			
	第29週			
2月	第30週	Section12 パーティー Scene1 電子招待状 Scene2 同窓会	パーティーの場面での表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉進行形・関係代名詞 〈場面〉電子招待状・パーティー 〈機能表現〉情報・ほめる
	第31週			
	第32週			
2月	第33週	Section13 日本の風物 Scene1 日本家屋 Scene2 日本料理	日本文化の話題の表現を用い、文法・文型の知識を定着させる。	● 〈文法〉分詞・強調構文 〈場面〉作文・家庭 〈機能表現〉満足・驚く ◆ 日本について英語で説明できる。 * 日本の魅力・問題点について考える。
	第34週			
	第35週			
後期考査 3/4～3/10		試験範囲 (教科書・副教材)		

科目名	外国語科 科目：英語Ⅱ	使用教材	教科書 LovEng. English Course Ⅱ (英Ⅱ052) 副教材 補助プリント、VALUE1400
単位数	ベーシックコース 2年 4単位	評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

学習到達目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
具体的な言語活動は以下の通り。

- ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

授業について

授業では教科書だけでなく、様々な話題・論点をもつ補助教材を用いて英語の表現・論法に迫ります。読んで訳すだけの授業ではありませんので、単語や文法事項だけにとらわれないようにしましょう。また、週に1回単語テストを行います。自分なりの予習、復習のサイクルを確立し、単語をたくさん覚えていきましょう。

自主学習について

- ◎予習 各教材のわからない単語を辞書で品詞や文型を考えながら調べ、訳せる文と訳せない文を明確にして授業に臨みましょう。
- ◎復習 授業で学んだ単語や文法事項はもちろん、異文化間のコミュニケーションに役立つ英語の表現・論法を定着させましょう

評価について

☆評価の対象

- ①定期考査
- ②授業への取り組み方
- ③提出物（ノート、ワーク、プリント）

☆評価の観点

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的话题について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
規準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力	(ア) 正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） (イ) 適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ、速さ）	(ア) 正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） (イ) 適切さ（場面や状況、目的に応じた聞き取り、読み取り）	(ア) 言語についての知識（リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現） (イ) 文化についての理解（円滑なコミュニケーションに必要なとされる文化についての理解）

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週	単元	目標	学習の要点
4	1	英語 I の復習	・中学校で扱われず、英語 I で初めて習う文法事項の確認	●仮定法 ●関係副詞
	2	Lesson 1	・エッセイを読み、Maleeの生活・夢について知る。 ・エッセイを読み、Yehramの生活・夢について知る。 ・エッセイを読み、Markの生活・夢について知る。	●S+V(=be動詞以外)+C(=過去分詞) ●S+V+O+C(=現在分詞) ●助動詞+受け身
	3	Seize the Day		
	4			
5		あ・ら・かると1 英語で書くE-MAIL	・英語でE-MAILを書く場合の顔文字、省略文字について知る。	◆異文化間でのコミュニケーションツールを使ってみる
	5	Lesson 2	・日本の伝統料理「すし」が、日本でもアメリカでも新しく姿を変えつつあることを知る。 ・伝統的なよさこい祭が「よさこいソーラン祭」として世界に広がりにつつあることを知る。 ・三味線ロックについての上妻宏光氏の言葉を読み、新旧文化の融合について理解する。	●現在完了進行形 ●分詞構文 ●受け身の現在完了
6	New Trends of Japanese Tradition			
7				
6	8		・音楽に新風を吹き込む東儀秀樹氏のプロフィール、彼の音楽に対する思いを知る。	*異文化言語で日本を見る
	9	Lesson 3	・言葉は他言語からの影響や時代の移り変わりの中で、ずっと変化し続けていることを知る。 ・美しい日本語の意味を改めて知り、次世代にそれらを残していくことについて考える。 ・ワルガリ・マータイ氏が提言する、“Mottainai”の意味について考える。	●過去完了進行形 ●未来完了 ●S+V+O(=what節)
	10	Precious Heritage of Language		
11	あ・ら・かると3 単語の成り立ち	・英単語が接頭辞・語幹などに分けられることを知り、単語の成り立ちについて興味を持つ。	◆異文化言語のルーツを知る	
7	12	前期考査	前期の総復習	●学習到達目標の中間確認
	13			
9	14	Lesson 4	・ダイアン吉日氏へのインタビューを通して、彼女の旅行好きについて読み、それが落語家になったきっかけの一つであることを知る。 ・英語落語家としてキャリアを積み始めたダイアンの言葉から、英語落語の難しさ・おもしろさを知る。 ・生徒へのメッセージを読み、夢を追いかけるのに何が大切だと言っているのかを理解する。	●S+C+O+O(=疑問詞+to do) ●仮定法過去 ●未来進行形
	15	Follow Your Dream		
10	16		・イルカのフジを襲った突然の病で、フジがどうなったのかを知る。 ・尾びれのほとんどを失ってしまったフジを救うために何がなされたのかを知る。 ・人工尾びれについて知り、その製作技術がどのように役立っているのかについて考える。	●It seems(ed) that ~ ●It is + 形容詞 + that ~ ●S+seem(ed) to do
	17	あ・ら・かると4 英語で落語		
10	18	Lesson 5	・スーパーマンとして有名なクリストファー・リーブに何が起こったのかを知る。 ・生きる希望を失ったクリストファー・リーブを救った妻ダイナとの愛について知る。 ・クリストファー・リーブを救ったもう一人の人物、息子ウィルのエピソードについて知る。 ・クリストファー・リーブを支えた家族愛、彼が残した言葉について考える。	◆ストーリー展開を追う *クリストファーの生きる姿に学ぶ
	19	Fuji Jumps Again!		
11	20		・人に与える印象は言葉以外のボディランゲージや声の調子に左右されることが多いことを知る。 ・同じ言葉でも声の調子が違うと意味する内容が変わってくることを理解する。 ・就職のための面接で、どのような態度を取ればよいかについて理解する。	●It is said that ~ ●感情の原因を表すthat節 ●付帯状況
	21	あ・ら・かると5 人工尾びれの研究とその可能性		
12	22	Lesson 6	・各国で用いられるジェスチャーを知り、日本のものとの違いを理解する。	*異文化間での非言語コミュニケーションツールを知る
	23	We Must. We Can. We Will.		
1	24		・世界の児童労働の現状について知る。 ・子どもが働かなければならない理由と、児童労働の問題点について理解する。 ・多くの国や団体がとっている対策について知り、自分たちで何ができるかについて考えさせる。	●疑問詞+do you think ~? ●助動詞+have+過去分詞 ●前置詞+関係代名詞
	25	Lesson 7		
1	26	More Than Words	・Child LaborとChild Workの違い、世界の児童労働者数について知る。	*世界の現状について英語で学び、自分には何が出来るかを考える。
	27	あ・ら・かると6 ジェスチャーいろいろ		
2	28	Lesson 8	・Child LaborとChild Workの違い、世界の児童労働者数について知る。	*世界の現状について英語で学び、自分には何が出来るかを考える。
	29	Child Labor		
3	30		後期の総復習	●学習到達目標の確認
	31	あ・ら・かると7 児童労働についてもっと知ろう		
3	32		後期の総復習	●学習到達目標の確認
	33	後期考査		
	34			
	35			

科目名	<h1 style="text-align: center;">外国語</h1> <p>科目：英語 Reading</p>	使用教材	教科書 WORLD TREK English Reading (桐原書店) ※ 英和辞典 ※ ノート
単位数	ベーシック 総合進学コース 2年次 [1単位] [前期]	評価方法	1. 定期考査 ①前/後期考査 ②中間評価考査 ③各単元確認テスト 2. 授業態度や取り組みの姿勢 3. 提出物（ノート・確認プリント・課題レポート等）
<h3>学習到達目標</h3> <ol style="list-style-type: none"> 英語を読んで、情報や書き手の意向(言語や文化に関する内容)などを理解する能力を身につける。 1の能力を活用して積極的で主体的な読む活動を高める。 読む活動を深め、他のコミュニケーション活動に利用する態度を育てる。 			
<h3>★授業について</h3> <p>基本的には教科書の英文を中心とした「読む」活動を展開していきますが、実際的な言葉を使用すれば、「内容を読み取る」能力を身につけて欲しいため、当然、英単語力・熟語力・文法内容の理解も必要不可欠なものとなります。いわば Reading は英語の最終評価となる科目とも言えます。したがって、難易度のことも考慮した上で、教科書外の教材、たとえば、新聞、オリジナル英文等を使用した授業展開も行います。</p> <p>また、英語(英文)読解から人間として生き方や社会問題、人権問題、異文化を通しての日本人の歴史的な習慣や風土的な内容を探ったりする時間としても大切な役割を果たすこととなります。</p> <h3>★自主学習について</h3> <p>◎予習 まずは英語辞書を使って次時間で習う範囲の英単語調べは必須となります。また、それぞれの Lesson には、英文理解のための文法的事項もでてきますので、参考書や辞書を使って事前準備(前時間に指示します。)も必要になってきます。</p> <p>◎復習 ・各時間に習った部分(英文)の内容を理解しながら3回通りは発音しながら英文を読む。 ・大切な英単語・熟語については覚えようと意識する。(小テストもあります。) ・文法事項については復習用の宿題プリントも出ますので、参考書等を利用して応用がきくように理解しましょう。</p>			
<h3>学習評価方法</h3> <ol style="list-style-type: none"> 定期考査(前期・後期)、中間評価考査、各単元ごとの確認テスト(英単語・熟語・文法事項) 授業への意欲や授業中の態度 英語が解らなくても、解ろうとする気持ちやあきらめによる意欲の低下については、生活のすべてに繋がるものです。 課題や提出物等 日頃のノートの整理意識の問題やまとめ方、また提出期限厳守に関するモチベーションは大事です。 			

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	1～	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> 健康・医療における説明文を読み、ハーブ療法を通じて健康管理の重要性について理解する。 食文化における論説文を読み、日本料理が海外で高評価を得てきた過程を考察する。 脳科学に関する説明文を読み、記憶と感情に焦点を絞り、最先端の脳科学研究を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●主題文、指示文、結論文 ◆書き手の主張や意図の推測 *健康管理の重要性を考える。
5	6週	Return to Herbal Healing		
6	7～	Lesson 10		
7	11週	Nouveau Japanese Cuisine In New York		<ul style="list-style-type: none"> ●パラグラフの構成型と展開型 ◆主題の捕らえ方 *食文化の歴史的な理解
8	12～	Lesson 11 The Study of Our Brain		<ul style="list-style-type: none"> ●説明文の概要把握 ◆具体例追加による可能文 *科学と人間との調和を考察してみる。
9	17週			

科目名	<p style="text-align: center;">外国語 科</p> <p style="text-align: center;">科目：Writing</p>	使用教材	教科書 POWWOW English Writing 副教材 Next Stage(桐原書店) 現代を探る(桐原書店) センター対策問題集
単位数	2年次：1単位必修 総合進学コース（後期）	評価方法	定期考査・小テスト 授業への取り組みの様子 提出物（課題・プリント・ノートなど）

学習到達目標

- ◆情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、場面や目的に応じて概要や要点を書くことができる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、自分の考えなどを整理して書くことができる。
- ◆自分が伝えようとする内容を整理して、場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くことができる。
- ◆大学入試に必要な作文力、表現力を身につける。

★授業について

授業では、日常生活の様々な場면을題材を取り上げ、情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で表現できる実践的コミュニケーション能力を伸ばすため、作文や発言の機会を設けます。積極的に参加しましょう。また、副教材を用いて大学入試に必要な実践力を身につけます。

★自主学習について

◆確かな学力を身に付けるためのアドバイス

「暗記」は古い学習法だと思いませんか。いいえ、暗記は「ライティング」の学習にとって、確かな学力を身に付けるために絶対に必要です。文法や構文を理解し、語彙を増やし、多くの例文を頭に入れておくことが大切です。暗記をする際には暗唱(声に出して)すると一層記憶に残りやすいです。

良い英文を書くことができるようになるためには、大量の良い英文を読むことです。読んでいるときに気に入った表現が出てきたら、それをノートなどに書きためておくとよいでしょう。いつか使う機会があるはずです。

日本語と英語の文章の展開法は違うところがあります。パラグラフ・ライティングの概念を理解し、同じテーマを何回か書き直しをして、よりよい文章を書けるように努力してください。英語の先生に英文のチェックをお願いすると一層上達します。

◆予習

次の時間に学習する範囲の教科書・問題集のページを読んでおきましょう。分からない語句は辞書で調べておきましょう。

◆復習

実践的コミュニケーションに必要な英語力の習得には反復が不可欠です。習ったことはその日のうちに何度も練習し、覚えましょう。

評価について

- ◆ 評価対象：①定期考査の成績
 - ②授業時における姿勢・態度
 - ③ノート・ワーク・宿題の提出の有無・記入内容の結果
- ◆ 評価の観点：①コミュニケーションに関心をもち、英語を書く活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。その際に、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように、書く過程も重視しているか。(関心・意欲・態度)
 - ②聞いたり読んだりした内容について、自分の考えを整理して書くことができるか。また自分が伝えようとする内容を整理して、相手に理解されるように書くことができるか。(表現・技能)
 - ③英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができるか。また文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読できるか。(理解)
 - ④情報や考えを伝える適切な英文を書くために、文型や文法、語彙を知識として持っているか。また、日常的な話題についての英語の学習を通して、その背景にある文化・生活習慣などを理解しているか。(知識・理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
10月	第1週	Section14 学校	学校生活の場面での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈文法〉 現在完了進行形・知覚動詞 〈場面〉 スピーチ・家庭 〈機能表現〉 喜ぶ・相づち * 積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
	第2週	Scene1 クラブ活動		
	第3週	Scene2 学園祭		
	第4週			
	第5週			
11月	第6週	Section15 ファッション	ファッションの話題の場面での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● (文法) 使役動詞・準否定 〈場面〉 家庭・日記 〈機能表現〉 残念・期待
	第7週	Scene1 美容院		
	第8週	Scene2 衣服		
12月	第9週	Section16 観光	観光での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈文法〉 過去完了 〈場面〉 みやげ物店・日記 〈機能表現〉 感謝・引用
	第10週	Scene1 おみやげ		
	第11週	Scene2 飛鳥巡り		
1月	第12週	Section17 時事問題	時事問題を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈文法〉 関係代名詞・仮定法 〈場面〉 新聞社説・スピーチ 〈機能表現〉 例示・注意を喚起
	第13週	Scene1 情報世界		
	第14週	Scene2 環境問題		
2月	第15週	Section18 ホームページ	ホームページでの表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈文法〉 関係代名詞・関係副詞 〈場面〉 ホームページ 〈機能表現〉 結論・判断
	第16週	Scene1 祭り		
	第17週	Scene2 カフェテリア		
	第18週	Section19 手紙		
	第17週	Scene1 試験	手紙での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈文法〉 仮定法 〈場面〉 手紙 〈機能表現〉 願望・助言
	第18週	Scene2 進路		
後期考査 1/27～2/2			試験範囲 (教科書・副教材)	

